

# イノウエ、生成AIを導入

## 総務・営業で業務に活用

ステンレス・高機能合金流通のイノウエ（本社〓東京都千代田区、井上浩樹社長）は、生成AIを社内です活用する取り組みを始めた。生成AIに派遣社員のような役割を持たせることで、業務の効

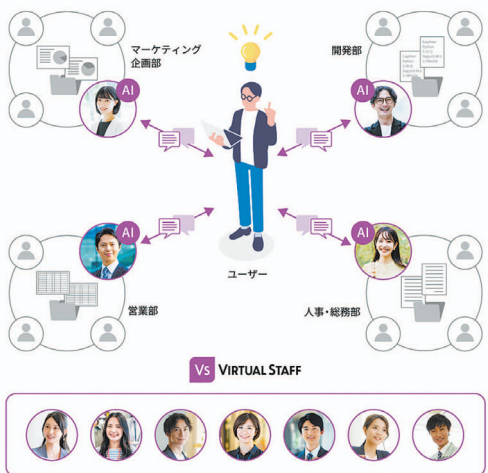
率化や、人手不足への貢献などを期待する。導入するのは、IT企業のディスカバリーズ（本社〓東京都港区、島田祐一朗社長）が提供する「バーチャルスタッフ」。営業や総務、人事など、業務別に自

社知識を学習した、専門性の高いAIアシスタントをスタッフとして派遣するもの。AIとチャット形式で仕事のやりとりができる。生成AIの「ChatGPT」をベースにしたAIのため、IT部

門のサポートがなくても、生成AIに社内資料などを送付し、学ばせることができる。ディスカバリーズによると、すでに大企業などから申し込みが来ており、2025年から本格的な提供を開始する予定。

イノウエはディスカバリーズの協力を経て、トライアル段階から総務と営業のバーチャルスタッフを導入している。総務のバーチャル

スタッフは、就業規則などの社内規則について質問すると、返答が来るような仕組みになっており、営業のバーチャルスタッフは、営業の社内報告事項を子



井上社長は「入社したばかりの方や、遠隔地で勤務している方の、サポート業務の効率化につながるだけでなく、社内のあいまいなルールをしっかりと共有することにもつながっていく」という。今後は、営業のAIにプレゼン資料の作成を依頼するなど、活用拡大を期待している。

ディスカバリーズが提供する「バーチャルスタッフ」のイメージ図